

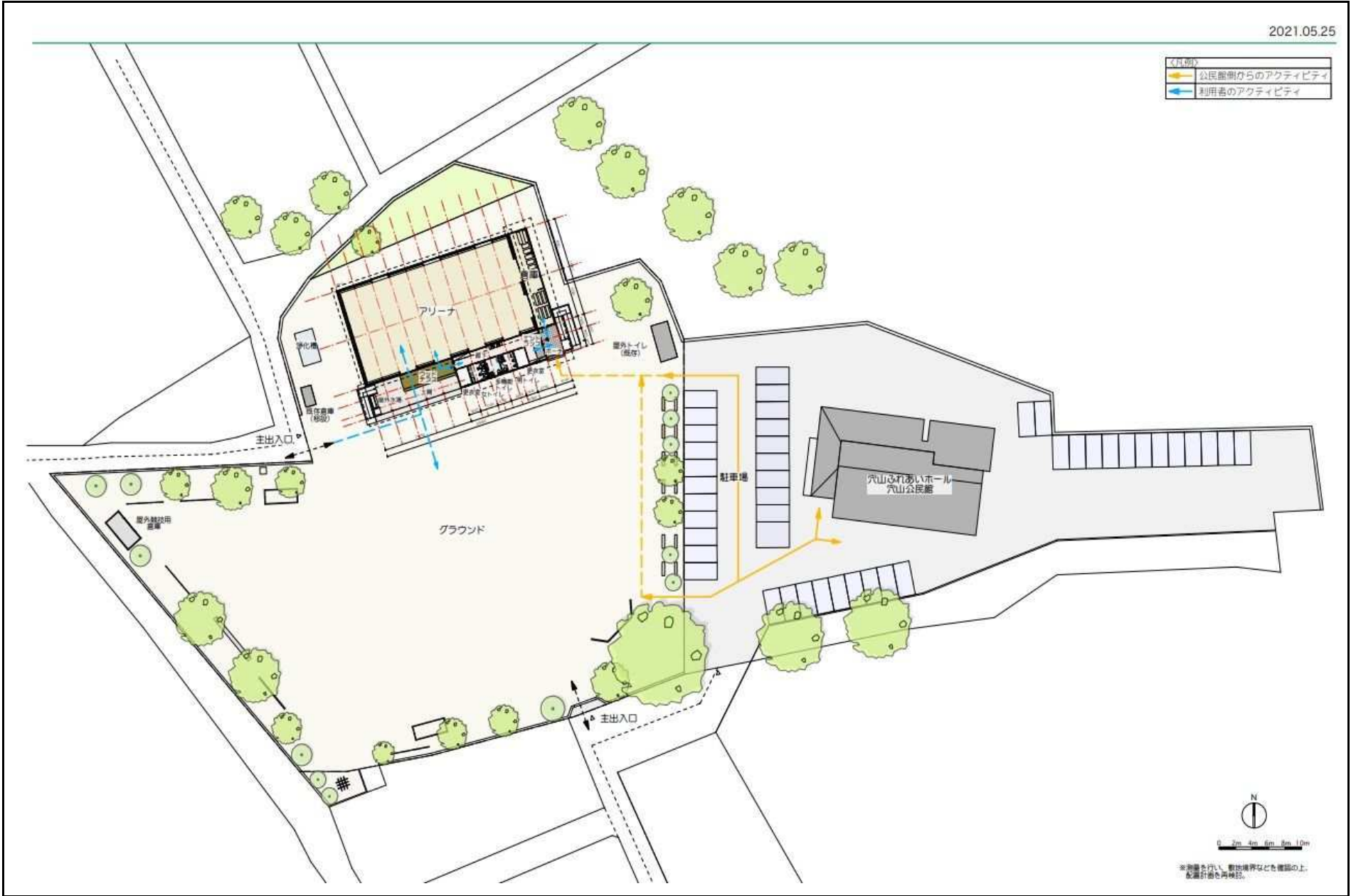
1. 令和4年度「議会報告会」地区テーマ

(1)テーマ: 穴山屋内運動場の進捗状況について

これまでの経過

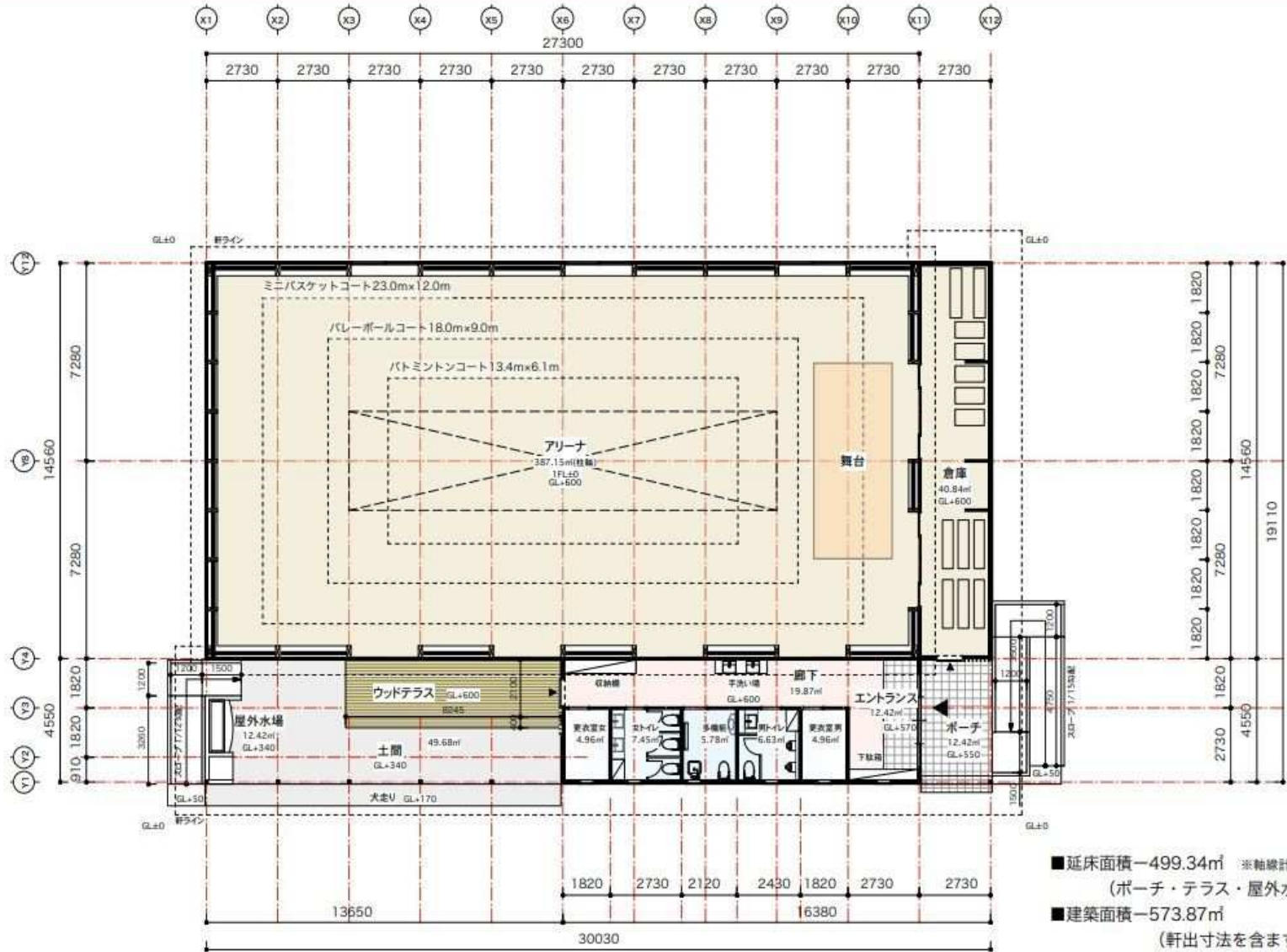
- ・平成30年1月24日 穴山屋内運動場について、建設に向けて事業を進める運びとなり地区説明会が開始されました。実施年度は、財政計画により平成30年度より順次着手し、改修順序は利用状況及び耐用年数を考慮し、平成30年度に中田屋内運動場、令和2年度には円野屋内運動場、穴山屋内運動場は、当初令和4年度着工予定になりました。
- ・平成30年2月7日 地区説明会を受けて、屋内運動場建設について様々な意見を集約し、担当課である教育課へ要望書を提出しました。
- ・令和2年3月 中田屋内運動場建設工事竣工 7月供用開始
- ・令和3年3月11日 歴代区長会、現区長会、歴代公民館館長、現公民館、有識者等19名と、教育課より3名による中田屋内運動場の視察研修を実施する。
- ・令和3年3月31日 穴山屋内運動場建設委員会発足
- ・令和3年3月31日 円野屋内運動場建設工事竣工
- ・令和3年5月25日 建設委員会による円野屋内運動場を視察研修を実施。教育課から建設工事工程表、体育館の立面図、全体配置図(別紙資料)の説明がされる。
- ・令和3年6月21日 建設委員会の中で、さまざまな意見を集約し、要望事項を教育課に提出する。
- ・令和3年7月15日 穴山屋内運動場建設に伴う地域説明会が開催され、市の検討状況が報告された。
- ・令和3年10月29日 穴山屋内運動場解体工事が完了する。
- ・令和4年1月20日 穴山屋内運動場建設予定地周辺が、今後土砂災害警戒区域となる可能性があること山梨県から説明があった旨、市建設課から連絡(令和3年12月21日)があり、24日庁内で情報共有による机上調査段階であり、現地調査の候補として選定されている状態で今後現地調査が行われ、現在の建設位置のまま計画を進めることは適切でない判断し、位置の変更について図面で案を示し、(別紙資料)建設委員会にお諮りした。しかし、建設委員会としては現地調査の結果を踏まえ、検討することとした。
- ・令和4年7月22日 地域説明会が開催された。
令和4年6月に山梨県の現地調査が終了したこと、その報告結果を踏まえ、総務課・建設課・教育課と課を跨いで協議した内容について、説明を受けた。
建設委員会からは、「体育館の向きを変えて位置をずらす」、「防護壁を設置する」、など現在の建設予定地での建設に向けた意見が多く上がり、市において今後の方向性について再度検討することとなった。

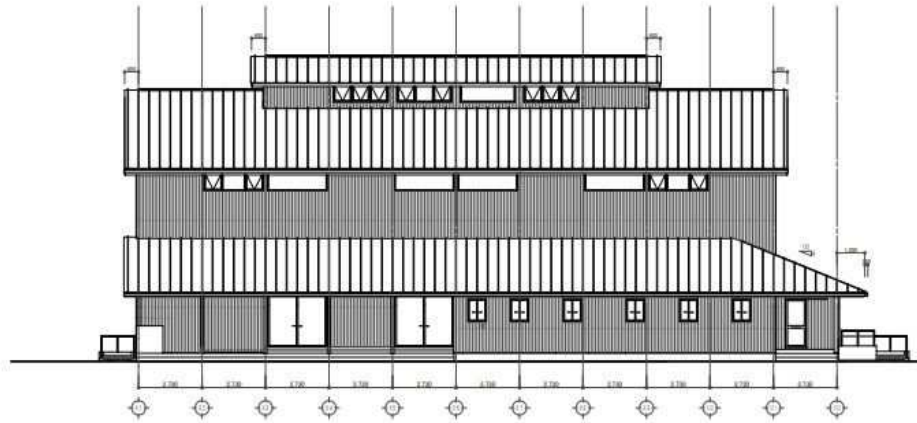
くまのり	
公民館側からのアクティビティ	→
利用者のアクティビティ	←



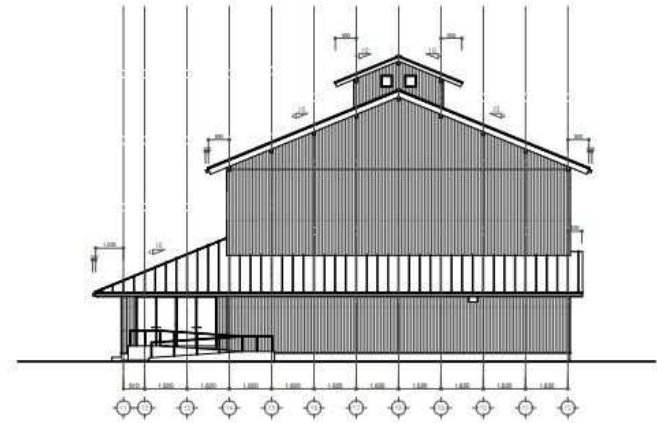
※別冊を併し、敷地境界などを建築の上、
配置計画を再検討。

・「GL」は、地盤面の高さ
 ・「FL」は、床面の高さ

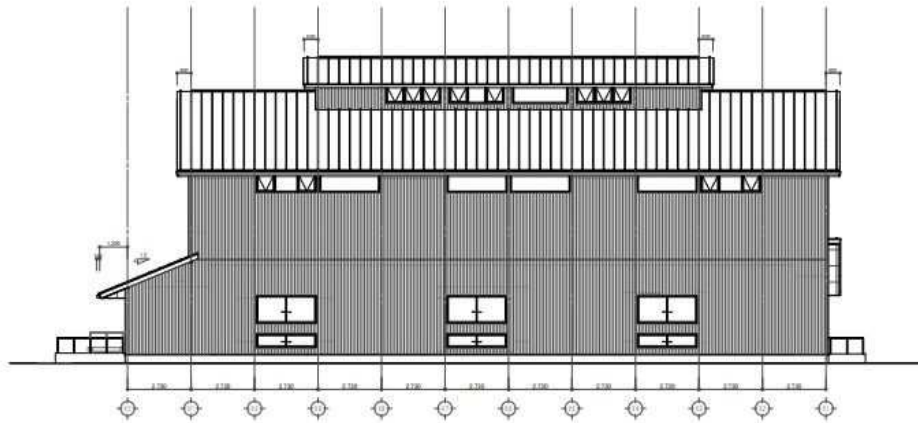




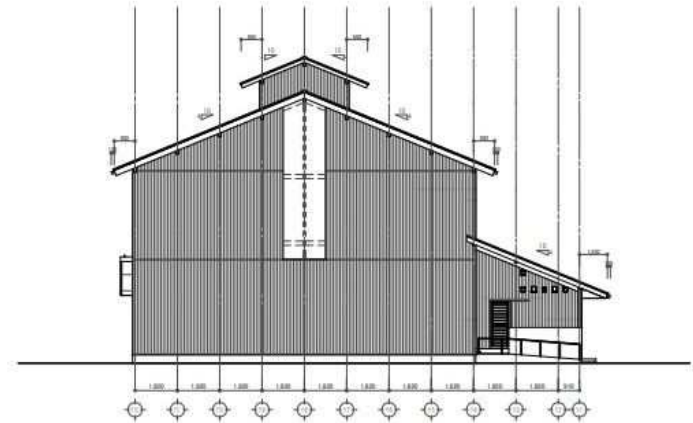
南側 立面圖 S:1/200



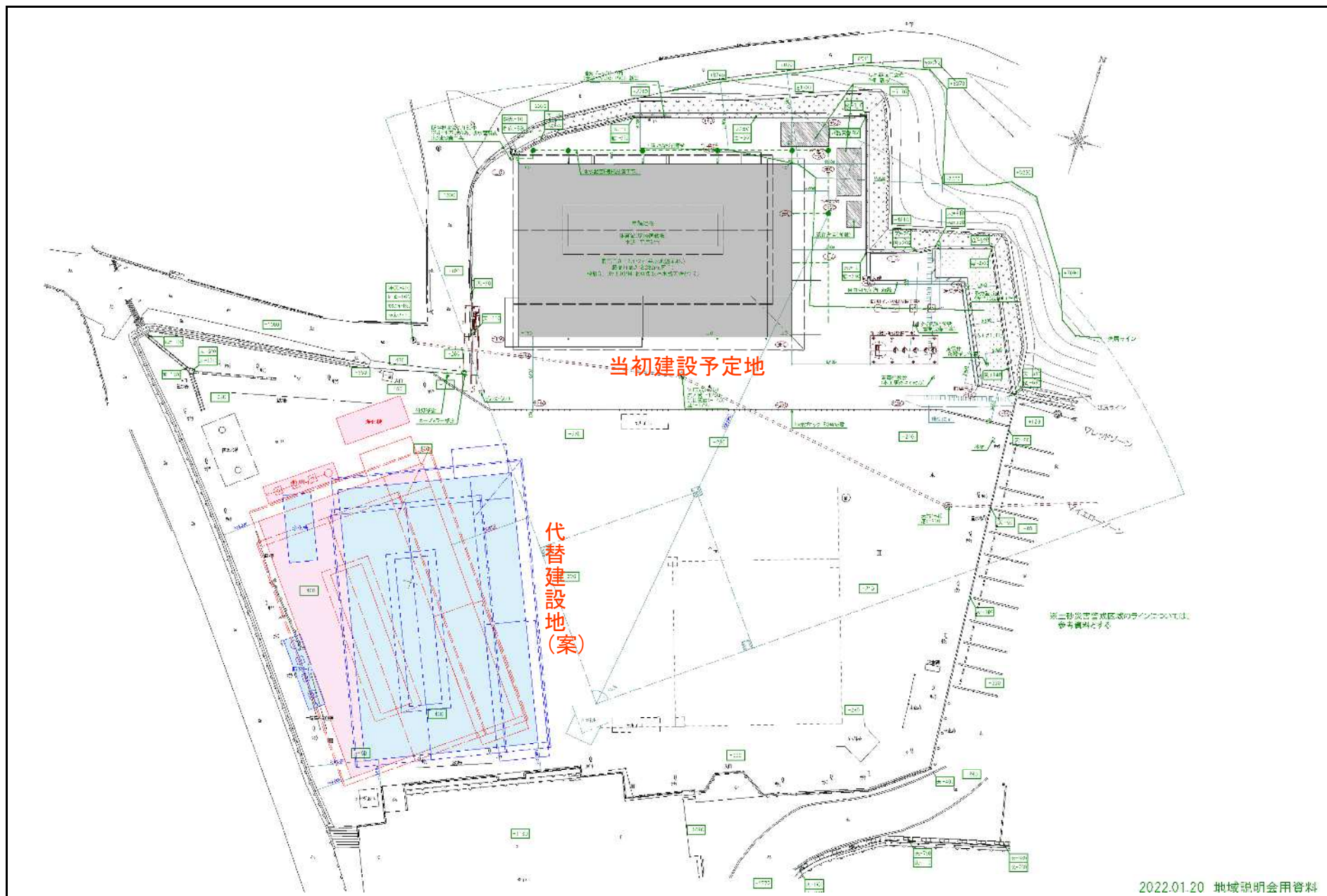
東側 立面圖 S:1/200



北側 立面圖 S:1/200



西側 立面圖 S:1/200



(2)テーマ: 農業競争力強化基盤整備事業の進捗状況について

農業競争力強化基盤整備事業農地整備事業(畑地帯担い手支援型)穴山地区につきまして、令和4年6月6日に開催されました、県営農業基盤整備事業(穴山地区)推進協議会事業説明会の資料を掲載いたしました。ご参照をお願いいたします。

畑地帯総合整備事業 穴山地区
事業の進捗状況

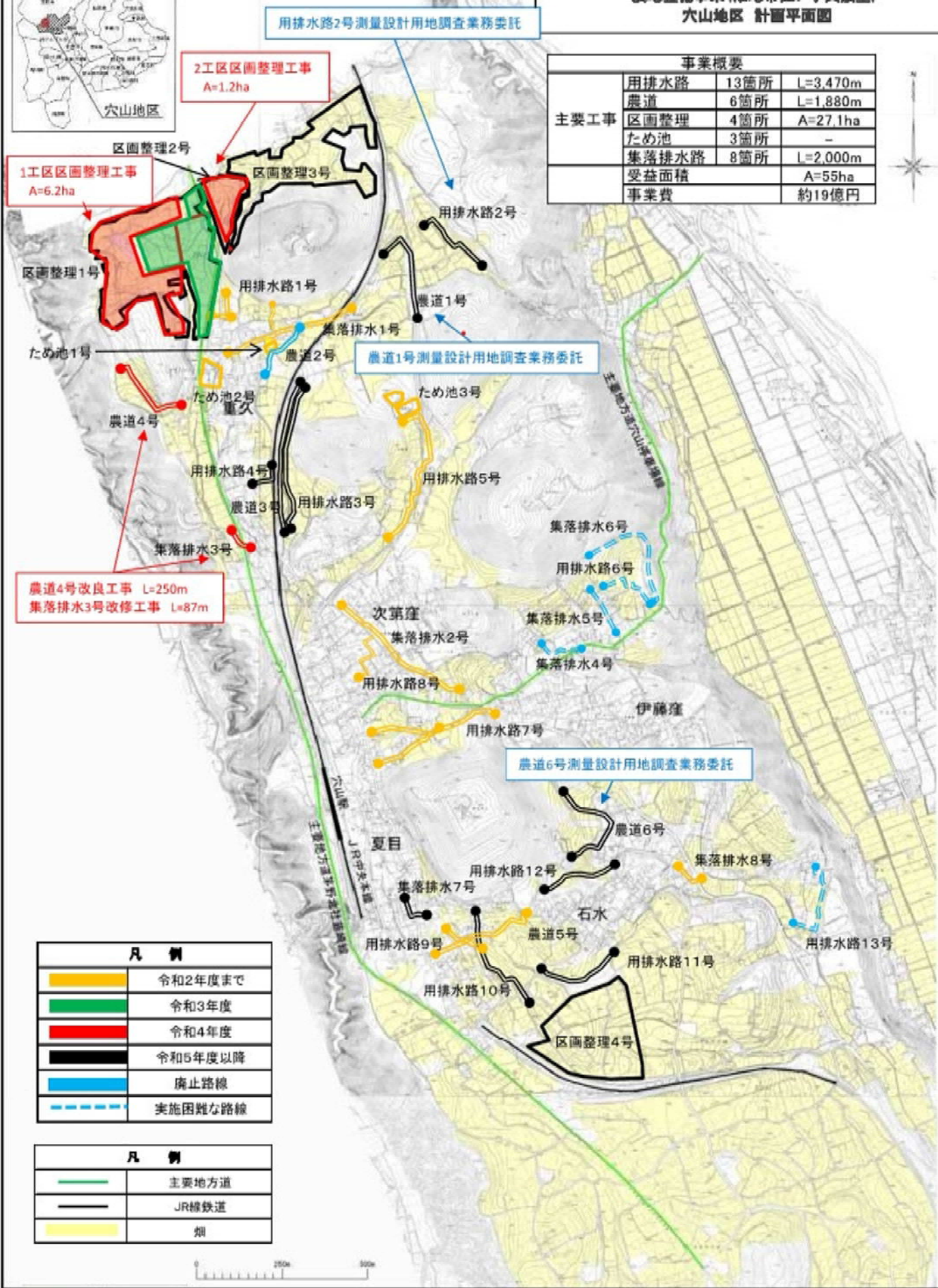
総事業費	2,178,000千円		
事業工期	平成27年～令和6年		
令和3年までの事業費	1,013,000千円		進捗率 46.5%
令和3年までの事業量			
・用排水路	824m/ (6路線/	3,470m 13路線)	進捗率 23.7%
・農道	333m/ (1路線/	1,880m 6路線)	進捗率 17.7%
・ほ場整備	12,5ha/ (0工区/	27,1ha 4工区)	進捗率 46.1%
・ため池	3箇所/	3箇所	進捗率 100.0%
・集落排水	1,141m/ (3路線/	2,000m/ 8路線)	進捗率 57.1%

令和3年までの事業費	(用地買収費と設計委託料は除く)		
・用排水路	42,778千円/	234,700千円	進捗率18.2%
・農道	58,422千円/	230,700千円	進捗率25.3%
・ほ場整備	351,688千円/	719,501千円	進捗率48.9%
・ため池	266,776千円/	266,776千円	進捗率100.0%
・集落排水	72,756千円/	221,000千円	進捗率32.9%

農業競争力強化基盤整備事業
農地整備事業(畑地帯担い手支援型)
穴山地区 計画平面図



事業概要		
用排水路	13箇所	L=3,470m
農道	6箇所	L=1,880m
区画整理	4箇所	A=27.1ha
ため池	3箇所	-
集落排水路	8箇所	L=2,000m
受益面積	A=55ha	
事業費	約19億円	



凡 例	
	令和2年度まで
	令和3年度
	令和4年度
	令和5年度以降
	廃止路線
	実施困難な路線

凡 例	
	主要地方道
	JR線鉄道
	畑



(3)テーマ： 史跡新府城跡の発掘調査と文化財保存活用施設基本構想について

1. 史跡新府城跡の発掘調査について

令和3年度秋より、本丸の平場の本格的な発掘調査が始まりました。石築地は、主殿を取り囲んでいたと考えられていて、石築地の全体像がわかることで、広大な本丸がどのように区画されていたのが検討できます。

写真は、本丸南東部で、発見された石築地です。市の担当は、発掘調査で現れた石築地の途中に



虎口があることがほぼ確実となり、石築地の石の中に五輪塔の地輪が使われていた、石築地は本丸南の土塁まで伸びていない、焼きゴメ、焼きアワ、焼きソバを含んだ土の層があった、石築地と少し離れたところに、釘などの鉄製品が集中している場所があったなど諸々の発見があったと説明していて、今後も発掘調査を継続していく計画です。

2. 文化財保存活用施設基本構想について

蕪崎市には現在蕪崎市民俗資料館、埋蔵文化財資料整理室(旧老人福祉工場)、埋蔵文化財保管庫(旧大草小学校体育館)、新府城内調査室(簡易プレハブ)といった市内の文化財を保存・活用する施設がありますが、各施設とも老朽化が進行するとともに、施設同士が離れていることから適切な維持管理に困難が伴い、また有機物(古文書、木製品等)を保存するための適切な保管施設がない状況にあります。

また、史跡新府城跡においては来場者数が増加しているものの、現地周辺にガイダンス施設がなく史跡としての本質的な価値や調査速報等の情報提供を求める声が聴かれておりました。

これらのことから、博物館、史跡のガイダンス、埋蔵文化財センター機能等を統合した市内の文化財の保存活用の拠点となる施設の設置に向け、本年度施設に関する基本構想の策定を行っていくとのことです。

9月に策定委員会を設置し、今年度末までに策定を完了する予定と伺っております。

(4)テーマ: 中田町地内の新府バイパス、市道(穴山)5号線、国道141号線の道路整備進捗状況について

1. 新府バイパスについて

中田町中條地内の国史跡・新府城跡内を走る主要地方道茅野北杜葦崎線を道路長さ800m(幅員6m)東側に移設する山梨県の事業計画

- ・令和3年度:用地買収完了、南側より道路工事が200延完成
- ・令和4年度:6月より市道と立体交差部分の工事が実施中です。
- ・令和8年度完成予定

2. 市道(穴山)5号線について

市道(藤井)6号線に接続するまでの中田町中條地内のL=820mを幅員w=7.0mに拡幅する工事

- ・令和3年度:概略設計が完了
(全体を2工区に分け、中田町公民館側からナラサ川三叉路までを先行整備する)
- ・令和4年度:実施設計を行う予定
(5月に道路建設委員会、6月に地権者説明会を実施)

3. 中田町小田川地内国道141号改良工事について

柳原神社から北方向 L=360m(両側歩道)をカーブの解消などの道路改良をする工事

- ・事業期間:令和2年度から令和9年度
- ・令和3年度:詳細設計完了
- ・令和4年度より、用地買収に着手
- ・令和5年度より、工事着工予定(令和9年度完成予定)



新府バイパスの工事状況



国道141号(柳原神社付近)

1. 都市計画道路など市街地開発が進むような肋骨道路などのインフラ整備計画について

道路整備につきましては、計画的に現道拡幅やバイパス化等の改良事業を行っておりますが、本年度から3箇年で都市計画マスタープランを改定いたしますので、慢性的な渋滞解消など、まちづくりの課題解決に向けた、総合的な道路整備計画をあわせて作成してまいります。市内では、国や県が管理している幹線道路が接続する交差点部及びその周辺地域、また橋梁やトンネルを介して接続する箇所などで朝夕の時間帯に限り、渋滞が発生する傾向が強いと認識しています。特に国道20号では舟山橋交差点、武田橋交差点、一ツ谷交差点付近、県管理では下宿交差点付近の本町通り線、東中付近の昇仙峡線、141号の相袋交差点、市道では葦崎2号線などがあげられると思います。

2. 空き家対策について

「空き家コーディネーター」制度につきましては、創設から5年が経過し、各地域の実情把握など、一定の成果を得ることができましたが、個人情報等の取得に困難をきたしていたことなどにより、昨年度末をもって終了したところであります。このため、各地区の皆様から空き家の基本情報をいただけるよう制度の説明に伺い、概ねご理解をいただいております。また、公益社団法人山梨県宅地建物取引業協会のご協力を得るなかで、新たに年8回の空き家相談会と、所有者向けのセミナーを開催することといたしました。相談会につきましては、第1回目の予約が満了となり、好調な滑り出しを見せておりますので、今後も制度の推進に積極的に取り組んでまいります。

3. 地域住民や民間事業者との連携も含めた住環境の整備について

住環境の整備は、地域のニーズや住民の理解、及び民間事業者の参入しやすい環境など、効果的なインフラ整備と関連性をもって行うことが重要でありますので、今回の計画策定の中で調査・研究をいたしますが、実効性の高い道路事業につきましてはスピーディに検討してまいります。住環境には肋骨道路などのインフラ整備は不可欠と考えますが、道路整備には用地取得をはじめ、ルート選定など地域の協力が不可欠でもあります。このような中で、行政主導で道路整備を提案することは難しいところもありますが、すべてを地区要望に任せるのではなく、効果的な道路整備につながる路線については、市から地区に打診するなど、積極的にかかわることも必要であると考えます。また、現在小規模な開発事業に対して用地取得や区画整備の一部を支援する事業を行っており、利用者もあることから、このような土地利用を刺激するような効果的な対策についても研究してまいります。

1. 北下條地区 市道(藤井)2号線
外側線、注意喚起標示



2. 北下條地区
北下條水路改修



3. 南下條地区
南下條水路改修



4. 北下條地区 市道(藤井)1号線
歩道舗装、防護柵設置



5. 駒井地区
農業用水路改修



6. 坂井地区 市道(藤井)49号線
原材料支給



2. その他 ※過年度テーマの進捗状況報告、テーマ以外の地域住民からの要望、意見等への回答

(1)過去藤井地区テーマ 令和4年度進捗状況

○藤井堰の改修について

令和元年度から令和2年度にかけて藤井堰沈砂池からの土砂払い水門下流の排水路が整備されました。現在は4月、9月の定期断水時に沈砂池の土砂上げ作業を役員の協力をいただき実施するなど、適正な維持管理に努められています。

○塩川沿いの整備について

河川内の伐木処理については、令和3年度に中田町中條地内で実施されています。継続事業として令和6年度で完了予定と伺っております。また、サイクリングロードの環境整備については、市道緑地管理業務委託事業として年2回実施する予定と伺っております。

○市道(藤井)1号線の整備について

市道(藤井)1号線につきましては、施工モデル区間として歩道改良が令和2年度に施工されました。歩道改良、防護柵設置により、利便性、安全性が向上したことから、引続き令和3年度に実施され、今後も継続実施予定と伺っております。